

どぼく施設探索アプリ「どぼくへGO！」

九州に存在する土木施設に足を運んでもらい、土木施設の魅力や地域情報を発信するスマートフォン向けアプリです。

何ができるか？

①土木施設の魅力をアピール

土木施設に足を運んでもらうことにより、スケール感を味わうだけでなく、土木施設が持つ様々な魅力を味わってもらうことができます。

また、土木施設の情報や役割を正しく知ってもらうことができます。

②地域の魅力をアピール

土木施設の情報だけでなく、その地域の名産品や観光地、土木施設を利用したスポーツイベント、祭りなども情報として配信することで、その地域の特色を知ってもらうことができます。

③歴史、文化の伝承

土木施設の情報だけでなく、その地域の歴史、文化を情報として配信することで、その地域の歴史、文化を語り継ぐことができます。

④地域の活性化

地域の名産品や特色を知った方が、観光地を訪れること、名産品を購入することにより、地域の活性化につながります。

なぜ土木施設か？

近年、国土交通省が民間ツアー会社と連携してダムツアーを行う「ダムツーリズム」等、土木施設を観光資源として利用する動きが増えています。

例えば、国土交通省が管理するダムを含め、九州地方(沖縄含む)には、約450基のダムがあります。また、福岡県北九州市の南河内橋や大分県院内町の石橋群などの「土木遺産」と名付けられた施設、古くから私たちの生活を支えてくれた発電所、地域住民に親しまれている河川堤防等、多くの土木施設が各地に存在します。

年々、土木の仕事を目指す人も減少していることから、若い人にこのアプリを使用してもらうことで、土木職の魅力も伝えることができると考えています。

アプリのイメージ

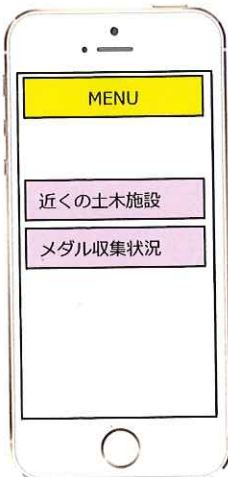
巷でブームを巻き起こしているスマートフォンの位置情報を利用したアプリです。

固いアプリにならず、かつ老若男女に楽しんでもらうために、土木施設を訪れるとメダルをゲットできるゲーム的要素も取り入れます。

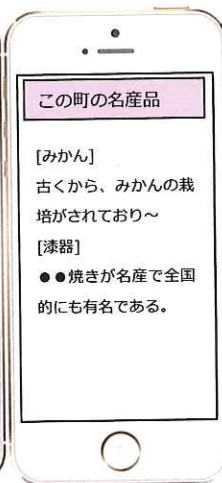
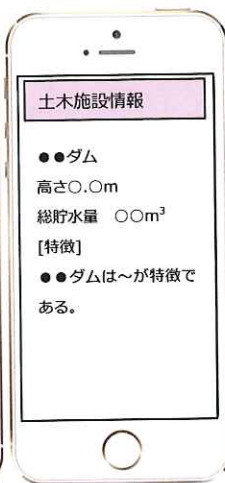
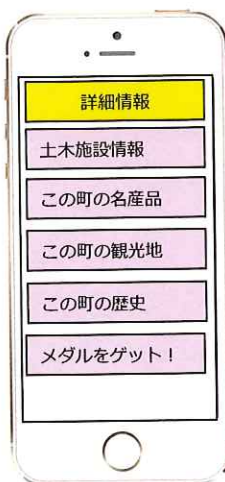
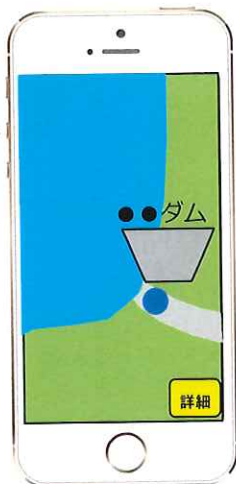
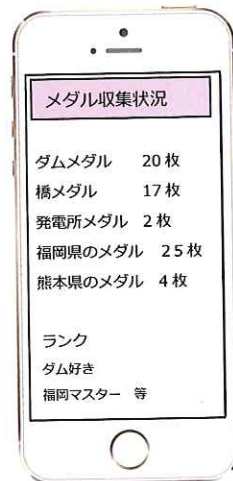
イメージ図



位置情報を取得し、現在地を確認する



MENUより近くの土木施設の情報やメダル収集状況を確認することができる



土木施設に近づくと詳細な情報やメダルをゲットすることができる。